

普及現地情報

令和元年産いぐさ展示ほ収穫調査を実施（宇城市・八代市）

優良品種「涼風」は苗が枯れにくく、栽培しやすい特徴などから県内作付面積の44.4%を占めるまでに拡大しています。

しかし、栽培面積拡大に伴い、収穫が遅れて品質が低下した事例も見られ、品質向上のために「涼風」の特性に適した栽培方法が求められています。

そこで、いぐさ普及指導室では「涼風」の栽培技術の確立に向けて、極早刈栽培技術、高品質安定多収栽培技術についての展示ほを4か所設置し、6月17日から7月2日にかけて収穫調査を行いました。

収穫後は茎長、茎数、重量などを測定し、本年産のいぐさの作柄を調査しました。今後は泥染め乾燥後のいぐさの収量、品質について調査を行い、次回の作付けに向けた講習会などでの活用、栽培技術の確立を目指します。



茎長別品質調査

種類：③

関連する普及課題名：優良品種「涼風」の安定生産

HP掲載可否：可

連絡先：農業研究センターアグリシステム総合研究所

いぐさ普及指導室 川本 牧葉